

お元気ですか

つかじさちの

第924号

日本共産党高知県議会活動報告

2019年8月31日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)

フレッシュ便



「核兵器禁止条約」を発効させようと行動する海外政府代表

2019年原水爆禁止世界大会・平和新聞報道より

海外・政府代表の発言(要旨)

やりがいある時期

オーストリア欧州統合外務省

ゲオルゲ・ヴィルヘルム・ガルホーフアーさん

外交政策では人道的アプローチを追及し、それは軍縮の全ての分野で私たちの指針になっています。市民社会の行動は、わが国の憲法に核兵器禁止を明記させ、国際レベルの市民社会の動員は核兵器に反対する共同をつくり出しました。



オーストリアは、とりわけ被爆者の証言や赤十字国際委員会が集めた証拠に注目し、核兵器の議論を非人道的帰結を軸に再構築したのです。私たちは、3回の人道的影響に関する会議を

条約は外交に合致

駐日メキシコ大使館

メルバ・プリーアさん

国連創立以来、わが国は人類を核兵器から解放する必要性を訴えて来ました。核兵器の開発、他国の核兵器の自国領土への配備を認



めないと決定し、憲法では原子力は平和目的にのみ利用できると規定しています。ラテンアメリカ、カリブ海地域は核軍備撤廃の意識を高める中心的役割を果たし、トピテロコ条約の発効につながりました。わが国は世界初の非核兵器地帯に属し、4つの非核兵器地帯創設に貢献してきました。

開催し、広範な所見を根拠に「核兵器に関する人道の誓い」を提起。127カ国が加わり、核兵器の禁止、廃絶の障害になっていた法的ギャップを埋めるために共同することを誓いました。その結果生まれたのが核兵器禁止条約です。

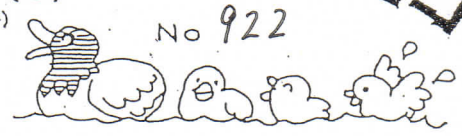
被爆者の不屈の決意と行動が、核兵器による無差別殺びんと破壊の恐ろしさを明らかにしてきました。しかし、冷戦終結から世界はこれを忘れつつあります。現在のような困難な時期は、やりがいのある時期でもあります。核兵器廃絶へ活動を続けましょう。

とを誇りに思っています。私たちは核兵器禁止条約の採択を歓迎しています。条約は核軍縮と不拡散を支持するメキシコの伝統的外交と合致しており、NPTとトピテロコ条約を強化するものです。

私たちの歴史的責任とは、広島と長崎に加えられたような攻撃を、度と起さなことです。核兵器が一定の安定をもたらすという、誤まった考え方が完全になくなるように努力します。みなさんの存在は希望を与えてくれます。あきらめずに頑張ります。

なるがも日記

No. 922



え〜っ! 歩道のまんながにバス停が

フェイスブック友達の投稿に、下記の写真がアップされていてびっくり! 急いで県の土木事務所に連絡「県が設置したものではないけれど、すぐ対応します」との事で、今はちゃんと移動しています。



長崎で開かれた原水爆禁止世界大会の感動をお伝えしたいと、続報です。今年の記念式典で被爆者代表の方は、安倍首相に「長崎原爆資料館を見て炊いれ」と訴えられました。この6年間一歩も歩いていない首相は、今年もその声も無視し停て行きました。「いったいこの国の首相なのか!」被爆者の怒りに、申し訳ない思いになりました。24日、第32回針木暴まつりに行ってました。生憎の雨模様でしたが、金魚すくいや出店で賑わってました。地域がですぬ。